

風まち・潮まち・港町

みたらい通志

No.19
2007.3月

恵美須神社

住吉神社

三社めぐり

さんしゃ

天満宮

●御手洗三社めぐりとは
御手洗三社めぐりは、たまた本殿に祈願するだけの参拝スタイルではありません。すべて、「くぐる」「さする」「さけぶ」……という「利益アクション」を伴います。するしない、信じる、信じない、すべてあなた次第。心願成就：願いが叶うかどうかはあなたの前向きな行動あるのみです。

江戸時代の港町、御手洗からこのたびユニークな「三社めぐり」が誕生。御手洗の三つの神様をお参りしながら町歩きを楽しむ企画です。ぜひお試しを!!

夢が叶う！願いが叶う！
あなたが救う
御手洗の三神明

「特集」御手洗詣



- 三社めぐりのルール (三社共通)
- ①まず、本殿にお参りする。
 - ②その後、その神社ならではの「ご利益アクション」を願いごとをとえながら実際にやる。
 - ③もう一度、本殿にもどり心より祈願する。

豊町観光協会

◎学問の神様「てんまんぐう」

其の一

天満宮

ご利益
アクション

本殿下のトンネルをくぐる

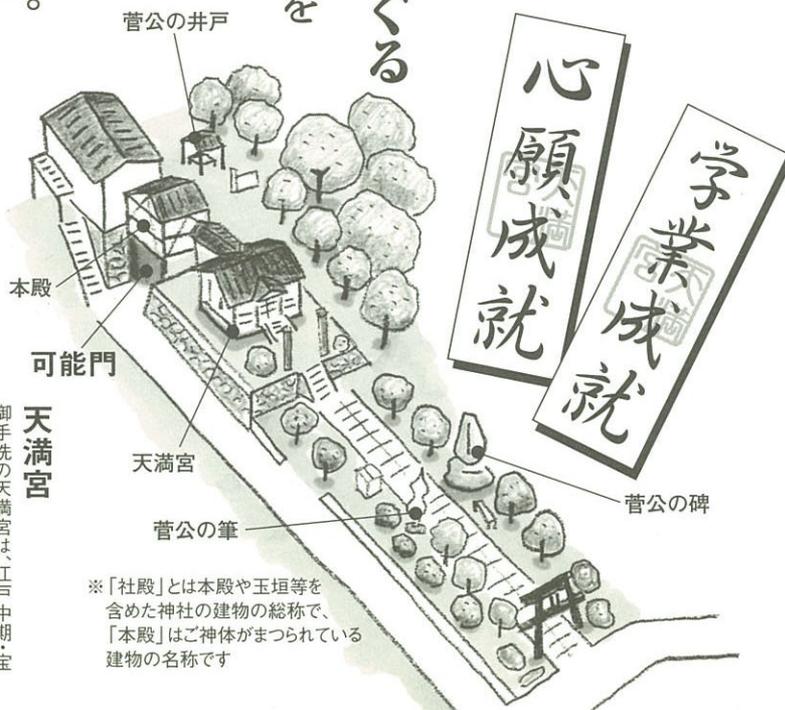
天満宮本殿下にある石のトンネルをくぐり抜けると願いごとが叶うと云われている。

但し、願いごとは一つだけ。

トンネルの名前はいつしか

「可能門」と呼ばれるようになった。

三社めぐりのまず最初は天満宮。御手洗の名前の由来はここから始まったとされる菅公の井戸でも有名なところ。その古井戸の横、ちょうど本殿下にある石のトンネルが彼の有名な「可能門」。この門をくぐり抜ければ願いごとが叶うことからその名がついたと云われている。天満宮は学問の神様、学業成就や受験合格の祈願はもちろんだが、ここ御手洗天満宮では「宝くじを当てたい！」などの必勝祈願もOK！但し、願いごとは一つだけ。



心願成就
学業成就

※「社殿」とは本殿や玉垣等を含めた神社の建物の総称で、「本殿」はご神体がつまられている建物の名称です

天満宮

御手洗の天満宮は、江戸中期宝暦5年(1755)に天神社として創建された。その後、明治4年に広島藩士・船越寿左衛門の寄進により造営され天満宮となるが、現在の社殿は町民の寄進により再建されたもの。江戸時代に水質がよいため本川の井戸があった所で、御手洗の地名に由来する言い伝えが残る由緒ある神社である。菅原道真が九州太宰府へ流される途中、風待ちのために上陸した説があり、境内には菅公ゆかりの井戸や歌碑もある。

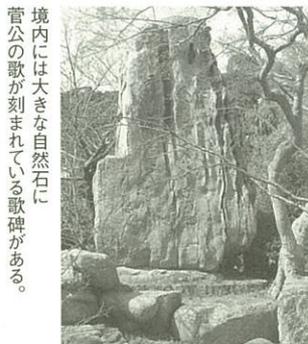
可能門



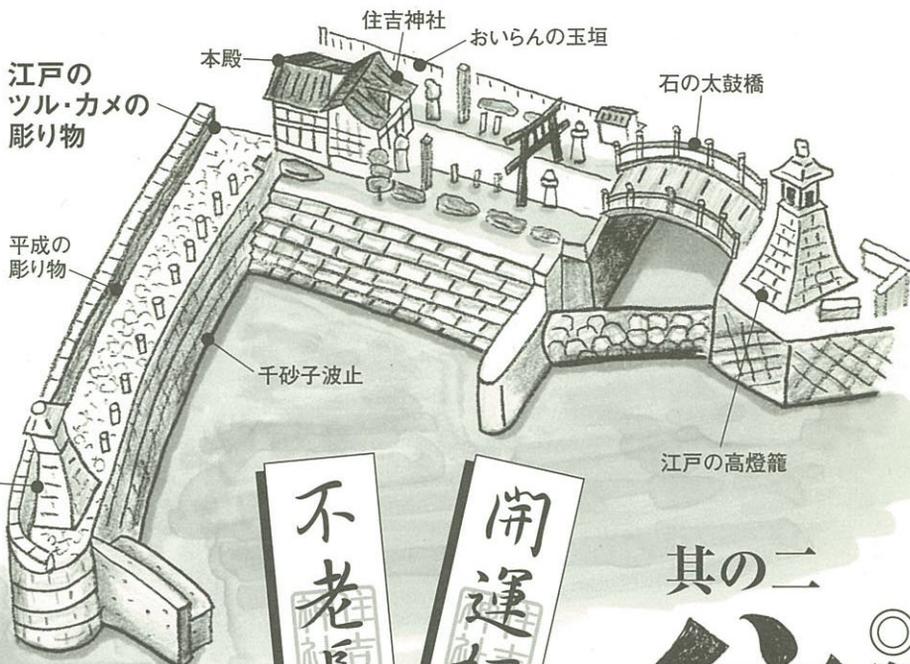
石のトンネル「可能門」は意外に低い。くぐるときには頭上に要注意。

ご利益

- | | | |
|------|------|------|
| 学業成就 | 入試合格 | 受験合格 |
| 学業上達 | 就職成就 | 昇進成就 |
| 心願成就 | 厄除開運 | 開運招福 |
| 家内安全 | 交通安全 | 病氣平癒 |



境内には大きな自然石に菅公の歌が刻まれている歌碑がある。



御手洗のシンボルといえば江戸の高燈籠。その隣にある太鼓橋を渡ると住吉神社の境内に入る。御手洗地区のいちばん端にあたる。大阪の住吉大社の1/2のスケールで建てられたという住吉造りの社殿は見どころがいっぱい。神社にお参りした後、ぜひ訪ねて欲しいところが本殿ウラ手にある千砂子波止という立派な防波堤だ。その入口にあるのが江戸時代のツルとカメの彫り物だ。江戸時代後期この波止を築いた石工職人が残

した見事な技が見れる。永遠の繁栄を願い夢見てツルとカメが彫られたと云われている。不老長寿に効くとされ、さすりに訪れる人も多い。

江戸のツル・カメ



千砂子波止石垣にあるツルカメの彫り物。上がツルで下がカメ。

其二

住吉神社

◎海運の神様「すみよしじんじや」

開運招福

不老長寿

ご利益アクション

江戸のツルカメをさする

住吉神社の本殿ウラ、

千砂子波止の石積みにある

「江戸のツル・カメ」をさすると

不老長寿が叶うと云われている。これが「ツルカメ」伝説だ。

ご利益

不老長寿	延命長寿	無病息災
身体健全	開運招福	厄難削除
災難削除	心願成就	家内安全
商売繁盛	事業繁栄	交通安全
旅行安全	渡航安全	海上安全

住吉神社 (県重要文化財)

古くから海上護神として海運に携わる人々の篤い信仰を集めた住吉神社。御手洗では江戸後期・文政13年(1830)に千砂子波止の築堤に際して、大阪の鴻池(こうのいけ)善右衛門が神社を寄進したといわれている。参道前には今でいう灯台の役目していた高燈籠があり、当時高燈籠の他に小さな燈籠が121基あったという記録も残っている。当時の御手洗の繁栄ぶりが偲ばれると同時に町と神社の結び付きの強さ、航海の安全を祈る人々の思いが伝わる。



波止の中央に台風19号の修復作業の際に作られた平成の彫り物もある。

愛の告白鳥居



ご利益
アクション

夕陽に向かって好きな人の名を
叫ぶと愛が叶うと云われる。
若い人に人気だ。

鳥居を抱き

好きな人の名を叫ぶ

御手洗に夕陽が沈む頃、

海に向かう鳥居の柱を抱き、

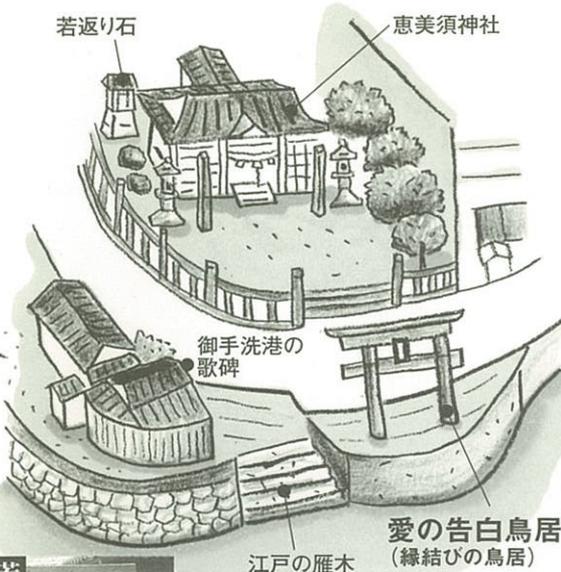
好きな人の名を叫ぶと

愛が叶うと云われている。

これが”愛の告白鳥居”だ。

其三 恵美須神社

◎商売の神様「えびすじんじや」



愛の告白鳥居
(縁結びの鳥居)

江戸の雁木

恵美須神社(県重要文化財)
江戸中期・元文・寛保(1736~1743)の頃、豊前小倉より御神体を移してきたと伝えられる恵美須神社。当初はごく小さな祠だったが、宝永4年(1707)に社殿の改築、元文4年(1739)には持殿の新築と続き、現在の社殿は明和元年(1764)に改築された。蛸子神社・事代主神の総称「恵美須」は、右手に釣り竿を持ち、左わきに鯛を抱く七福神の一人。えびす信仰の象徴と言える世には「葉が落ちず常に青々を繁る」といった特徴から、家運隆昌・商売繁盛の神として御手洗では大切にされている。

若返り石



御手洗の海に捨てても捨てても戻ってくる大きな石がまつられている。その縁から「若返り石」と命名された。この石をさすと、延命長寿・無病息災のご利益がある。

ご利益

無病息災	縁結び	開運招福	商売繁盛
病氣平癒	夫婦円満	恋愛成就	事業繁栄
安産子授	厄除開運	良縁成就	諸業繁栄

三社めぐりの最後は恵美須神社。江戸時代、御手洗の繁栄の中心だった御手洗港。江戸の雁木のすぐ前にあるこの神社は、その名のとおり商売の神様えびす様が祀られている。但し、現在は本殿と鳥居をつなぐ参道は県道で分離され、鳥居のみが海に向かって建っている。この鳥居が、ここ数年「縁結び」のご利益があると若い人に人気だ。夕陽に向かって鳥居を抱き、好きな人の名前を叫ぶと愛が叶うと云われており、いつしか愛の告白鳥居と呼ばれるようになった。また、本殿ヨコの小さな祠にまつられている「若返り石」のご利益にもあやかりたい。





才女になれる(?) 弁天社

御手洗入口にある弁天社。琵琶を持ち、音楽・弁才などの徳があるとされる女。弁天様がまつられている。美人の神様としても有名。まっ赤な鳥居が目印。

三社めぐりコース

◎御手洗詣 みたいもうで

三社めぐりマップ

ぜひこの機会に御手洗の三社を巡ってください。ゆっくり歩いて1時間、他の観光コースも合わせて3時間あればのんびりと散策が楽しめます。地元の観光ガイドもご利用ください。お気軽に潮待ち館まで。

観光の問合わせ: ガイド申し込み
潮待ち館 ☎0846・67・2278

其の一 天満宮

天満宮本殿下にある石のトンネルをくぐり抜けると願いごとが叶うと云われている。但し、願いごととはつだけ。トンネルの名前は「つだけ」。「可能門」と呼ばれるようになった。

心願成就
学業成就

其の一 住吉神社

住吉神社の本殿ウラ、千砂子波止の石積みにある「江戸のツル・カメ」をさすると不老長寿が叶うと云われている。これが「ツルカメ」伝説だ。

開運招福
不老長寿



其の二 恵美須神社

御手洗に夕陽が沈む頃、海に向かう鳥居の柱を抱き、好きな人の名を叫ぶと愛が叶うと云われている。これが「愛の告白鳥居」だ。

縁結び
商売繁盛



満舟寺の健康地蔵
なんとも微笑ましいお顔の地蔵さんは、「健康地蔵」と命名された観光コースの人気スポット。自分の体の調子が悪いところをさすると、たちまち良くなると云われている。無病息災、病氣平癒のご利益がある。



満舟寺の鐘楼
満舟寺の境内にある鐘つき堂。願いごとをとえながら一突きすると、願いが叶うと云われている。誰でも自由に突けるので、ぜひお試しを。但し、鐘を鳴らすのは1回のみ。

江戸のツル・カメ
千砂子波止

ゆたかまち句集

十五

漕き出でて島々桃の花盛り

桃十

うららかや花嫁わたる太鼓橋

愛花

囀りに聴く耳風化して羅漢

三余

春うら、目を伏せ給ふ石仏

信女

道草に春あり花の馬ごやし

九水

短か夜やとりとめもなき夢ばかり

翠山

花葵曇りて眩し灘の風

純生

春泥へ椿一花を切りそこね

蚊居

ちりばめて赤青黄の灯春夕べ

実花

雲に入る日に春寒の海となる

蒼々

俳句・和歌を募集中!

みなさまからの俳句、和歌を常時募集しています。

豊町に限らず、テーマは自由。

たくさんの方の投稿をお待ちしております。

【あて先】

〒734-0302 広島県豊田郡豊町御手洗
豊町観光協会「ゆたかまち句集」係まで

農道から
小長港を望む





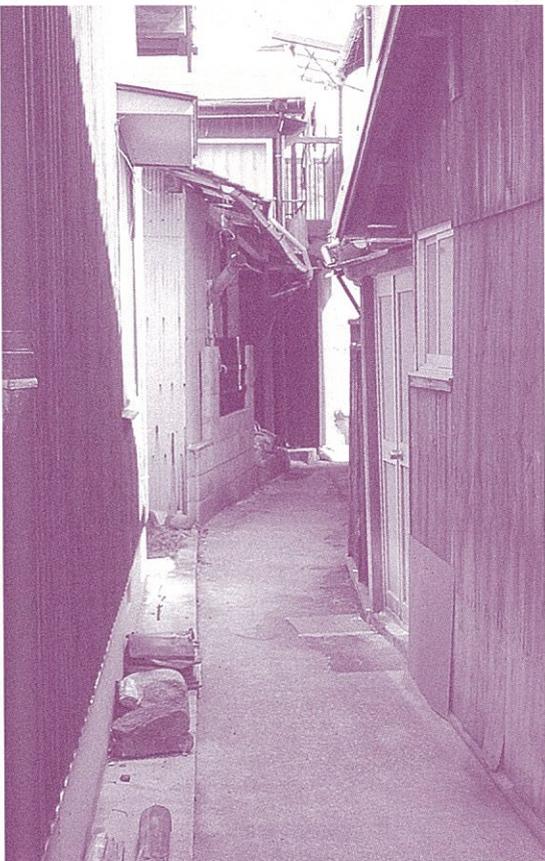
御手洗ものがたり 15

御手洗の裏路地

小路は御手洗の毛細血管である。

くの字小路

御手洗は埋立てによつて宅地造成を行つてきた町である。その結果、継ぎ目が「くの字」に折れ曲がる路地が生まれた。



になにを煮ているかも匂ってくる。夫婦喧嘩をすればなにが原因で争つていくかということが向こう三軒両隣に知られてしまうという、むせるほど強烈で濃密なコミュニティがあったと想像できる。

そのような路地を、春には花吹雪が風に乗る、路地から路地へ流れて行き、夏には洗いたてで糊の効いた浴衣を着て、素足に黒塗りの下駄を履いたおねえさんが軽やかに駆け抜け、秋には酔った水夫があちこちに身体をぶつけながら何か喚いて通り、盆暮れの節季には商人たちが路地から路地へ集金に駆け回り、その横をたくさんの子供たちがすり抜けて行つていたのである。

御手洗全体を一つの生命体と見るなら、小路は毛細血管である。この細い血管のどこでもいい、立ち止まり、しばらく耳を済ませてみてください、大人が、子供が、男が、女が、老人が、若い衆が、大急ぎで、のろのろと、大またで、チョコチョコと、笑いながら、青ざめて、深刻な顔で、ニタニタしながら、行きかう音が聞こえてくるはずである。それはそのまま、御手洗という土地に血の通う音だったのである。御手洗のすべての小路に名前が付いていたのかどうか不明だが、資料を見る限りでは以下の五つの名前が解る。

「5軒屋小路」「横屋小路」「梅屋小路」「竹屋小路」「御影小路」

とはいえ、今この小路の名前を言われて、それがどこなのかパッとわかる人はいないだろう。(長濱要悟)

こうじ しょうじ

「小路こうじがとうこうじ小路しょうじがまんしょうじ、沖に風呂屋が五百軒」という囃し唄を聞いたことがあるだろうか。この中のとうこうじは「登光寺」つまり今の大東寺を指したものであり、まんしょうじは「満舟寺」のことである。沖に風呂屋が5百軒というのは御手洗港に停泊中の船のマストを風呂屋の煙突にたとえたもので、いずれもその数の多さを面白おかしく表現しようとしたものである。

まんしょうじとはいくらなんでも大

げさすぎる表現だが、確かに小路の数が多い。しかも車が通れるなどという易しいものではなく、人がすれ違うのがやっと、といった広さのものばかりである。傘すらいっぱいに広げることは出来ないのである。路地が多いのは御手洗に限らず島の集落はどこでもそうなのだが、狭い土地に小さな家が立ち並び、たくさんの人が密集して住んでいたことの現れであろう。

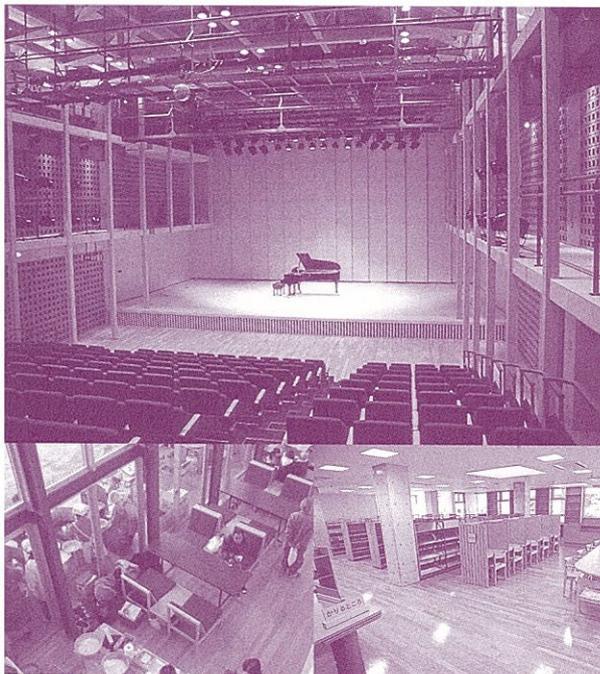
路地を隔てても隣の家の子供が泣く声は聞こえるし、夕ご飯のおかず



わたがまちなんでも伝言板



●みかんの島の新しいふかあじ拠点 安芸灘交流館 堀ばたホールOPEN



(上)最大255席を完備している堀ばたホール。(下右)図書室ではたくさんの本はもちろん、子どもの部屋・学習コーナーなどもある。(下左)住民が気軽に立ち寄れるギャラリホール。

平成17年2月、大長集落の北堀と南堀の中間に、本格的なコンサートなども楽しめる堀ばたホールと公民館が併設した「安芸灘交流館」が開館しました。住民参加の施設づくりを目指した豊町では、施設計画の具体化に向けて、平成14年6月から10数回にわたって、「ワークショップ」堀ばた会議」を実施。住民と専門家を交えながら施設デザインから運営方法まで話し合い完成した安芸灘交流館は、住民のアイデアが反映されたユニークな試みとしても注目されました。

堀ばたホールの外観は豊町の町並みに溶け込み、屋根にある4つの天



先日行われた産業文化祭でも会場になった安芸灘交流館。多くの人で賑わった。

窓が印象的。併設する公民館には、図書室や和室・文化教室などがあり、講演会など多目的に使用できる施設になっています。

将来的にはみかん資料館(仮称)と一体となった複合文化施設となり、瀬戸内海の観光・交流の拠点になる予定。豊町にまた新しい観光名所の誕生です。

●豊町の新しい特産品 レモンの入浴剤・ レモンジュースが 人気急上昇中!!



人気商品の「天然レモンのお風呂」。レモンの爽やかな香りでリラックス。



2月下旬に行われたフードフェスタ広島でも「柑橘生活研究会」の商品は大人気。

飛弾稔子さんが代表を務める「柑橘生活研究会」は、柑橘栽培に最も適しているこの島で、柑橘生活を楽しむこと・柑橘の需要を掘り起こすことを目的とし、柑橘の利用方法を考案するグループ。2003年からみかんやレモンを栽培・加工し、次々に商品化しています。なかでもレモンを使った入浴剤とジュースは町内外でも大人気商品。美肌効果とアロマテラピー効果が人気の秘密。「産地から、柑橘ライフの豊かさ」が発信できたから。」と飛弾さん。栽培家ならではの材料をふんだんに使った純度の高いもの、誰もが作れる簡単レシピが提供できるよう、一年を通して生活のどこかに柑橘があるように活動を続けたいということです。



おたより

読者の広場

たくさんのお便りありがとうございます。
「みたらい通志」の感想や、
豊町を訪れた感想・豊町への希望なども
お便りください。お待ちしております。

■…読者からのお便り

★…編集室からのお返事（今回はNが担当）

■私は御手洗の秋光先生にソロバンを習いに行っていました。又、姉の店（新屋店）には懐かしい手動式かき氷機があり、小さい頃を懐かしく読ませてもらいました。又、この夏、沖友の姉より「はちみつレモン」と生レモンの詰め合わせセットを送ってもらい、とても皆に好評なので、又送って頂くことにしています。贈り物に喜ばれています、よろしく願います。

（木原珠江・59才・甘日市市）

★「はつみつレモン」お湯で割ってホットジュースにすると、アイスジュースとはまた違った味が出て美味しいですね。豊町の特産品として大きく成長するようわれわれも期待しているところです。

■去る11月11日（木）4人で長年の御手洗を訪ねることが出来ました。来る12月2日（木）広島市西区のくさつ歩こう会45人位で御地に行く予定です。（潮待ち館・観光交流センター）には連絡済み）その為の下見で行きました。若胡子屋の室内に昔の写真や家具等の展示したらいかがですか？この「みたらい通志」に特集されている「懐かしの昭和展」の展示物等も。今度ガイドさんに案内してもらいながら見学を楽しみにしております。

（田中嘉明・66才・広島市）
★現在、かつて庄屋だった「柴屋」を修理復元中です。三年がかりでやっています。そのあと、「若胡子屋」も復元します。これらが実現すると「町じゅう博物館」が出来上がります。その建物の中にどんな

ものを展示するか、関係者の夢はふくらむ一方です。

■みたらい通志、懐かしく思いますが見えています。先の広島でありましたオレンジの会の時にいただきましたのは12月にNHK文芸会センターの方が御手洗に行く話を聞きまして、で、センター長にさしあげて宣伝しておきました。島のため、皆さん体調を崩されないように町おこし頑張ってください。（下田和子・広島市）

★「みたらい通志」を読んだ方はたいてい面白いと言ってくださるのに、まだまだその存在が世に知られていません。「オレンジ会」の会員の方、豊町の特使であると自認して、宣伝していただけると大変ありがたいです。

■先日（11/28）訪問時、心よりの歓迎、ありがとうございます。とても楽しい時を過ごしました。「大長みかん」としておいしく店（薬局）のお客様に大人気でした。「豊かさは早さではない！」との提唱は今の日本にとって最も必要な事だと思います。スロライフから豊かな未来を探し出さないと思っています。そして、いかにして若者達に伝えていくかが大切ですね。「スロライフのすすめ」は薬局に来る患者さん達にも話してみます。ありがとうございます。

（北村哲治・57才・愛知県）
★本当の豊かさとは何か、というのを考えることが出来るのは、そして、それを体験できるのは田舎に住んでいる

ものの特権のような気がします。というのは、意識的にそうしようと思わなくても、田舎に住んでいることそのものが「スロライフ」を実践しているからです。

■11月23日に2年ぶりに豊町に行きました。明石港から小長港へ向かうフェリーからの景色は何度見てもいいですね。潮待ち館では歴史の見える丘公園への道も丁寧に教えていただきありがとうございます。帰りには大長みかんを土産に買って帰りました。

（平賀孝明・43才・府中市）
★いらつしゃつたのは大長ミカンが一番美味しい時期でした。五月のミカンの花が満開のころもいいですよ。

■「みたらい通志」No.14入手。長かった停滞を脱却して江戸からの商人魂の港町の伝統を回復させて今の時代に適合したスロライフ（充実した人間らしい生活）への運動にみがかがかかって来たようで嬉しい限りです。思えばみたらいはそうした町でした。

（北川貴治・78才・兵庫県）
★「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されてからの御手洗はたしかに変わりつつあります。こんどは、現在建設中の「安芸灘三号橋」の開通により、もっともつとダイナミックに変わることが予想されます。変わっていい事と変わらない方がいい事があると思われまます。その点を「みたらい未来塾」では話し合っ

■本日は御地区「みたらい通志」のプレゼント「はちみつレモンセット」をお送り下さりありがとうございます。早速、厚くお礼申し上げます。ホットレモン湯に致して飲みました。大変美味で大満足。風邪気味で寸度の痛みによかったです。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

（田中嘉明・広島市）

★「はちみつレモン」は健康にも美容にもいいです。

■先日潮待ち館へ行つたとき親切に対応していただき、ありがとうございます。街角の生け花も風情があり心の温かさが感じられました。（平賀真美・41才・府中市）
★あの花々は地元のおばちゃんたちが丹精込めて作っています。そして、ボランテイアで毎日取り替えています。花を愛し町を愛する気持ちを感じていただければ、これに勝る喜びはありません。

■編集後記

宝くじをもって御手洗の三社をお参りしたら当たるといわれている、と観光客から聞いたことが今回の企画のきっかけとなった。三社以外に弁天様を加え大長の東風崎神社、八王子社、最後に宇津神社を廻つたら七福神となり、ジャンボ宝くじすら当たるかも？（N）



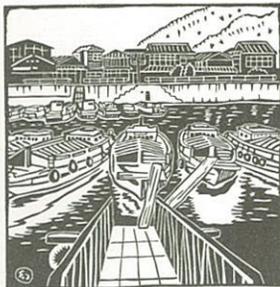
白鳥居で撮影する愛の告白スタッフ編集

「みたらいい美人」ポスターが完成しました。



みたらいい美人

「昨年、御手洗が「重伝建選定」10周年になったのを記念してイベントをやった。イベントの総合テーマを「みたらいい未来塾」とした。4つのイベントを同時にやるという、ちょっと気ぜわしいものだったが、中の一つ、「みんなで語ろう、御手洗の未来」にもたくさんさんの人が参加してくれて、どなたも臆することなく、御手洗への自分の想いを吐露してくれた。そのときの、参加者の「想い」を何とか形にできないだろうか、と、スタッフ一同、ない知恵を絞ってきたのが今回の「みたらいい通志・19号」である。ポスター側では御手洗に現在もほのかに残っているお色気と、町民の情を、散策マップ側では文化と歴史とちよっとした遊びを感じていただければ、製作者冥利につきます。(長濱要悟)

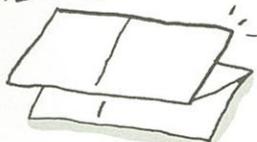


大長の町並み(大長北堀のみかん農園) 画/まぼろし誠郎

まぼろし誠一郎プロフィール

1954年生まれ。広島県出身。東京でアニメーターとして活躍した後、帰広。瀬戸内海の港町と日本酒をこよなく愛するさすらいの版画家。これまで、竹原・大長・尾道・鞆の浦...と、港町シリーズが人気だ。今回は10年ぶりに油絵に挑戦、モデルは以前、御手洗で出会った女性という。

御手洗バタバタ折り



編集室注:今号のみたらいい通志、サイズは従来どおりですが、仕様が違います。題して「御手洗バタバタ折り」。オモテは人気の三社めぐりのリメイク版、中面は念願の美人画ポスターです。人生に疲れた方、仕事や家庭がうまくいかない方、御手洗はそんなあなたの心のふるさどです。このへんでひと休みしませんか?(O)



みたらいい通志バックナンバー

1996年、重伝建選定を記念にスタートしたみたらいい通志。今年で早や11年、通算19号になりました。

瀬戸内海のへん・大崎下島

瀬戸内海広域図



御手洗への交通のご案内

- 今治から大長まで…高速艇で30分
- 竹原から大長まで…高速艇で30分
- 仁方から大長まで…高速艇で30分
- 三原から大長まで…高速艇で55分
- 広島から大長まで…高速バスと高速艇で約2時間
- 広島空港から大長まで…ジャンボタクシーと高速艇で約1時間30分
- 大長から御手洗まで…バスで3分(または)徒歩15分
- 大長から久比まで…バスで約10分(または)レンタサイクルで20分
- 大長から沖友まで…バスで10分(または)レンタサイクルで25分

MITARAI
since 1666

- 寛文6年(1666)御手洗の町づくりがはじまる
- 文化3年(1806)伊能忠敬が御手洗を測量する
- 文政9年(1826)シーボルトが御手洗に立ち寄る
- 11~12年(1828~9)千砂子波止がつくられる
- 12~13年(1829~30)住吉神社がつくられる
- 嘉永6年(1853)吉田松陰が長崎行の途中で立ち寄る
- 元治1年(1864)三条実美たちが都落ちの途中に立ち寄る

観光案内(観光の問い合わせ・ガイド申込等)
■潮待ち館(豊町観光協会)
TEL・FAX 0846-67-2278

※情報誌「みたらいい通志」は広島市本通り「夢ぶらざ」にも置いてあります。